

概略

川俣町の繁華街を南方から見下ろすようにそびえる「館ノ山」は、桜田玄蕃公が川俣城を構えたところとして、町民に昔から親しまれ、町の文化財としても誠に重要な所である。平成五年に川俣町体育館が完成し、埋蔵文化財の調査や、本丸までの距離が近くなったことなどで、一層身近な里山になってきたところである。

本丸跡と二の丸跡があり、特に二の丸跡は、桜が咲き下界の見晴らしも良く、多くの人に親しまれているところである。

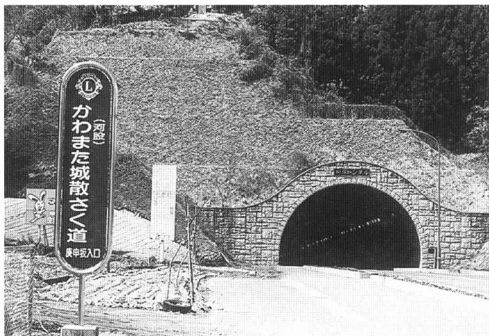
本丸には、三等三角点がある。

登山行程

〔トンネル東口から山頂へ〕

国道一一四号線バイパスのトンネル東口には、庚申坂がある。このこうしんざか庚申坂を登り五分ほどで峠につく。この峠を左の方に尾根道を登ると本丸が見えてくる。道は材木の切り出しに使ったため、だいぶ広くなっ

ているので、のんびりと歩くことができる。十分ほど歩き、本丸の手前で左手に折れると二の丸につく。ここには、「桜田氏居城の地」の石碑が建っている。そして、ここから見下ろす町並みは、また趣が違って素晴らしいものである。本丸が、館ノ山の山頂になるが、南西側から山頂に上がることになる。



トンネル東口の登山口